

広島大学インキュベーション研究拠点
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」
第17回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。

教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】2017年12月22日（金）16：30～18：00

【場所】総合科学研究科 大会議室

【演者・講演内容】江角重行（熊本大学 大学院生命科学研究部(医) 脳回路構造学分野）

本能行動の基盤となる神経回路発生機構を探る

本能行動の中枢は、視床下部や扁桃体である。これらの領域は脳内の様々な領域に投射し神経活動を調節している。しかし、その神経回路や神経核の発生機構は未だわかっていない。我々は、本能行動の基盤となる神経回路発生機構を探るため、脳発生でユニークな発現を示すホメオボックス型転写因子Dbx1に注目し、遺伝子改変マウスを用いて、その機能を探った。その結果、Dbx1は視床下部神経回路形成に関わることや、その欠損で、体重異常や捕食者からの逃避行動といった本能行動の異常が起こることがわかった。

【問合せ】浮穴和義（総合科学研究科 行動科学講座 内線6571）

＊本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。

